

# 白河小峰城跡（白河市）

築城年代：興国元年／暦応3年（1340年）、築城者：結城親朝

小峰城歴史館に掲示されていた「悠久の小峰城/文化5年（1808年）ごろの小峰城」加工/現在の姿は、江戸時代に藩主丹羽長重が梯郭式平山城の近世城郭として大改修したもの/東北地方には数少ない、随所に石垣を多用した城郭となっている/幕府の「奥州の押さえ」の役割を担っていたが、幕末には戊辰戦争の舞台にもなった/「城山公園」として保存整備されている



前方は太鼓門とその先の二之丸で、ここは三之丸から堀跡（両サイド）を渡る土橋/前方と手前に、それぞれ説明板が立っている



手前の説明板/縄張図に門・櫓跡が記されている

# 小峰城の門・櫓跡 やぐら あと

Site of Kominejo Castle Gates and Turret 小峰城の城門、城樓遺跡 小峰城の城門、城樓遺跡 고미네성의 문·망루 터



「奥州白河城下全図」(部分)

「白河城御櫓絵図」と「奥州白河城下全図」(ともに文化5年(1808)成立)によれば、18箇所の門と11箇所の櫓が確認できます。このなかで、上の図の範囲に存在した門・櫓は20箇所(門:11箇所・櫓:9箇所)を数えます。  
※矢之門は、構造から門と櫓の機能を持っており、「白河城御櫓絵図」では門で記載されていますが、門と櫓双方に算入しています。



現況における本丸・二之丸を中心とした、門(青字)・櫓(赤字)の位置と名称

According to records from 1808, there were 18 gates and 11 turrets around Kominejo Castle.

关于小峰城内的城門和城樓，根据1808年的資料，有18个城門和11个城樓。

關於小峰城內的城門和城樓，根據1808年的資料，有18個城門和11個城樓。

고미네성 내의 문과 망루는 1808년의 자료에서는 18곳의 문, 11곳의 망루를 확인할 수 있다.

縄張図/発掘調査や江戸時代の精巧な絵図をもとに、三重櫓・前御門が木造で忠実に復元されている



奥州白河城下全図（部分）



左手の掘跡を見たところ



同じく、右手の堀跡を見たところ

 [video](#)



土橋を渡って、前方の説明板を見たところ/ここは二之丸のエリア





三之丸から土橋を渡った二之丸入口に太鼓門があった

# たいこもんあと 太鼓門跡

Site of Taikomon Gate 太鼓門遺迹 太鼓門遺跡 다이코몬 문 터

太鼓門は二之丸の南側入口にあたる門で、三之丸からの土橋を渡った所に設けられていました。

高さ約3.8mの石垣の上に檜をわたした檜門で、規模は高さ約10m、間口が約10mでした。

文化5年(1808)につくられた「白河城御檜絵図」の中の「太鼓御門建絵図」によれば、柱には榎(榿のこと)が用いられ、屋根は瓦葺きの切妻屋根となっています。

他の城郭の太鼓門(檜)では、藩士の登城合図などに鳴らす太鼓を置いた例があり、小峰城でも同様の可能性が考えられます。



「太鼓御門建絵図」

Taikomon Gate, the south entrance to the Ninomaru outer citadel, is about 10 meters high with a width of about 10 meters.

太鼓門是位于二之丸南側入口的城門，高約10m，正面寬度約10m。

太鼓門是位於二之丸南側入口的城門，高約10m，正面寬度約10m。

다이코몬 문은 니노마루의 남쪽 입구에 해당하는 문으로 높이 약10m, 폭이 약10m.

現在地の二之丸から会津門跡～藤門跡～清水門跡～前御門～本丸御殿跡～桜之門跡～三重櫓と進んでみよう



これは二之丸から三重櫓を見たところ

[video](#)



これは左手（西側）に移動して、白河城歴史館付近から前方に本丸の石垣を見たところ



さて、ここは小峰城跡（城山公園）の西側入口



これはそこから水堀越しに本丸方向を見たところ

 [video](#)



そこで、右手を見たところ/水堀は東方向に続いている



同じく、左手を見たところ/北方向に続く水堀は前方で右手に折れて、東方向に本丸を取り巻いている





小峰城跡（城山公園）の西側入口から城内に入ると、マウンドと説明板があった



ここが会津門跡



あいづもんあと  
会津門跡

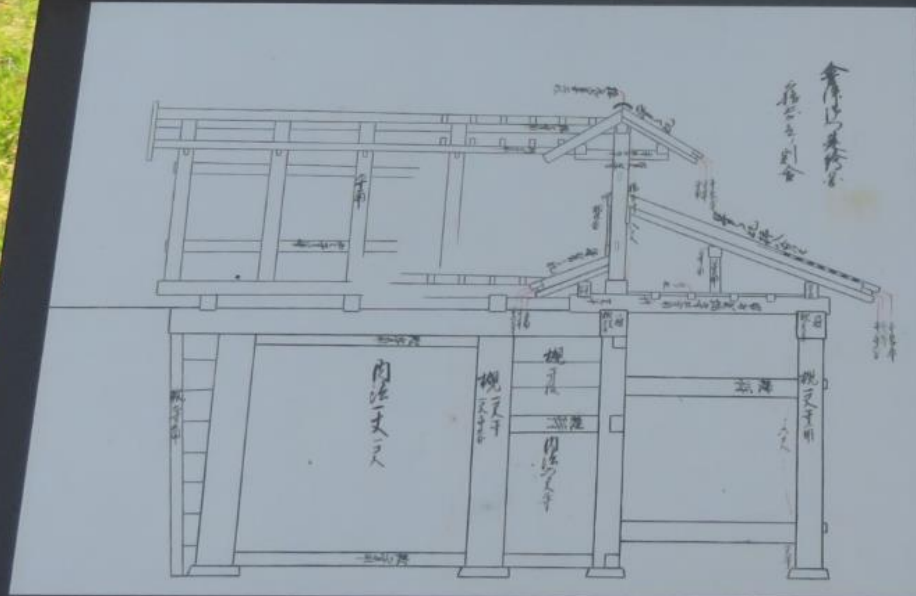
Site of Aizumon Gate 会津門遺迹 會津門遺跡 아이즈몬 문 터

小峰城の北西側に設けられた(※)会津町の武家屋敷から三之丸に入る門で、会津町に通じるため、この名称となったようです。

門の入口は南向きで、高さ約7m、屋根は柿葺きとなっていました。

門の上部に部屋はありませんが、一見すると腰板を装備した櫓門(二階は櫓・階下に門を設けた形式)に見える建て方をしていたようです。

※会津町の名称については、文化2年(1805)に完成した「白河風土記」によると、会津藩旧臣を召し抱えて住ませた事に由来する、とあります。



「会津御門建絵図」(「白河城御櫓絵図」1808年より)

This gate, on the west side of Kominejo Castle, was the entrance to Sannomaru (outermost region of the castle) from the samurai residences in Aizumachi. At around 7 meters high, it has a shingle roof.

从设在小峰城西側的會津町の武士宅邸進入三之丸的城門。  
高約7m, 屋頂為木瓦屋頂。

從設在小峰城西側的會津町の武士宅邸進入三之丸的城門。  
高約7m, 屋頂為木瓦屋頂。

고미네성의 서쪽에 설치된 아이즈마치의 무사저택에서 산노마루로 들어가는 문. 높이 약7m, 지붕은 널지붕으로 되어 있다.

これは先程反対側から見た、会津門を入った三之丸に設けられた小峰城歴史館

[video](#)



これは小峰城歴史館の辺りから、東方向を見たところ/堀跡が横切っており、前方の建物は二之丸に建つ「二ノ丸茶屋」



# 小峰城の門・櫓跡 やぐら あと

Site of Kominejo Castle Gates and Turret 小峰城的城門、城樓遺迹 小峰城的城門、城樓遺跡 고미네성의 문·망루 터



「奥州白河城下全図」(部分)

「白河城御繪図」と「奥州白河城下全図」(ともに文化5年(1808)成立)によれば、18箇所の門と11箇所の櫓が確認できます。このなかで、上の図の範囲に存在した門・櫓は20箇所(門:11箇所・櫓:9箇所)を数えます。

※矢之門は、構造から門と櫓の機能を持っており、「白河城御繪図」では門で記載されていますが、門と櫓双方に算入しています。



現況における本丸・二之丸を中心とした、門(青字)・櫓(赤字)の位置と名称

According to records from 1808, there were 18 gates and 11 turrets around Kominejo Castle.

关于小峰城内的城門和城樓，根據1808年的資料，有18個城門和11個城樓。

關於小峰城內的城門和城樓，根據1808年的資料，有18個城門和11個城樓。

고미네성 내의 문과 망루는 1808년의 자료에서는 18곳의 문, 11곳의 망루를 확인할 수 있다.

その堀跡を左手から見たところ/この堀跡は右前方で左手に折れて、最初の三之丸から二之丸へ渡る土橋の両サイドの堀跡に続いている



別の角度から堀跡を見たところ/前方の建物は小峰城歴史館

 [video](#)





これは小峰城歴史館の脇に立つ説明板/小峰城大手門跡の礎石がここに移設されている

[video](#)



大手門は城山公園の遙か南側（東北本線JR白河駅の線路を渡って更に南方向に進んだ所）にあったようだ

# こみねじょう おおてもん あとそせき 小峰城大手門跡の礎石

Foundation Stone at the Site of Kominejo Castle's Otomon Gate 小峰城大手門遺址の礎石 小峰城大手門遺址の礎石 고미네성 오테몬 문 터의 주춧돌



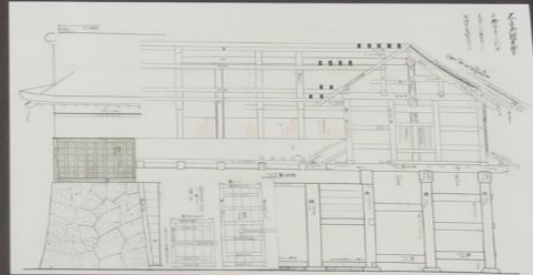
発掘調査全景

大手門は、城の正面、表口にあたる門で、小峰城では、平成5年に実施した市街地の発掘調査により位置が特定されました。(地図参照)

ここに展示している礎石は、発掘調査により発見されたものをそのままの配置で移設したものです。

礎石は、上面を平坦に加工し、柱を据える中央部分には「ほぞ穴」が設けられ、周囲には柱材の痕跡が残されています。

この痕跡から、柱の太さは門柱が62×46cm、控柱は33cm角であったことがわかりました。



おおてもんからとらえす  
「大手御櫓建絵図」(「白河城御櫓絵図」1808年より)

所在地 / 白河市大手町

Location: Otomachi, Shirakawa City  
所在地 / 白河市大手町  
소재지 / 시라카와시 오테마치

形式 / 櫓門

Type: Yagurumon Gate  
形式 / 櫓門 形式 / 城門 櫓 / 櫓門 櫓 / 櫓門 櫓 / 櫓門

規模 / 櫓間口 6.0m

Scale / 櫓間口 6.0m  
規模 / 櫓間口 正面宽度 6.0m  
規模 / 櫓間口 正面宽度 6.0m  
규모 / 櫓間口 6.0m

奥行 19.2m

Depth: 19.2m  
深 19.2m  
안길이 19.2m

門間口 5.0m

Gate Width: 5.0m  
城門 正面宽度 5.0m  
城門 正面宽度 5.0m  
문 폭 5.0m

奥行 8.6m

Depth: 8.6m  
深 8.6m  
안길이 8.6m

高さ 11.0m

Height: 11.0m  
高 11.0m  
높이 11.0m



Otomon Gate is the front Gate of the castle which was located on the current southeastern side of Shirakawa Station. The foundation stone excavated there has been moved and put on display.

大手門是位于城樓前門的城門，小峰城位於目前的白河站東南側，將在那裡發掘的基石移到这里展示。

大手門是位於城樓前門的城門，小峰城位於目前的白河站東南側，將在那裡發掘的基石移到這裡展示。

오테몬 문은 성의 출입구에 해당하는 문으로, 고미네성에서는 현재의 시라카와 역 남동쪽에 있었다. 그곳에서 발굴된 주춧돌을 옮겨서 전시하고 있다.

白河市

その礎石をアップで見たところ



これはその辺りから本丸の石垣を見たところ/手前には水堀が並行している

[video](#)



左手にその水堀を見たところ/前方で右手に折れて北方向に本丸を取り巻いている

[video](#)



その右手を見たところ/水堀はこの辺りで、最初の三之丸から二之丸へ渡る土橋の両サイドの堀跡に続く堀跡へと南方向に折れている



三之丸から二之丸へと入った部分には堀は無く、平場になっている/ここはかつて、元太鼓門から入る柵形虎口を構成していた部分のようだ



その右手を見たところ/この先は石垣に沿って水堀が並行している/正面中央の石垣の上が月見櫓跡





その先がこんな塩梅

 [video](#)



さて、これは二ノ丸茶屋/一寸した休憩所

[video](#)



これはそこから東方向に二ノ丸を見たところ/前方に藤門跡が見える



そこで、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



ここが東側にある藤門跡/東側から西方向に見たところ

[video](#)



さて、本丸へと進んでみよう/右手に城址碑が立っている



「史跡 小峰城址」とある





こんなものもあった



あの東日本大震災では、石垣に大きな被害があったようだ

# 東日本大震災からの復旧

Restored After the Great East Japan Earthquake 東日本大地震後の修復 東日本大地震後的修復 동일본 대지진의 피해로부터의 복구

## I 東日本大震災での被害

This was damaged in the Great East Japan Earthquake. 在東日本大地震中受災。 동일본 대지진의 피해

平成23年3月11日、午後2時46分に発生した地震(震度6強)により、白河市のシンボルである小峰城跡の石垣が、9箇所にわたり崩落しました。

また、4月11日の余震(震度5強)で新たに1箇所の石垣が崩落し、地震による崩落は10箇所に及びました。

市では、崩落した石垣の測量や写真撮影などによる被害状況の記録化に努めました。



2011年发生了东日本大地震，出现了石垣倒塌等许多破坏。目前，为了尽可能接近震灾前的状态，在对石垣的结构和倒塌原因进行调查的同时采用传统工艺修复。

2011年發生了東日本大地震，出現了石垣倒塌等許多破壞。目前，為了儘可能接近震災前的狀態，在對石垣的結構和倒塌原因進行調查的同時採用傳統工藝修復。

2011년에 발생한 동일본 대지진에서는 돌담 등의 피해가 다수 발생. 현재는 지진 피해 전의 모습으로 복원시키기 위해 돌담의 구조나 붕괴 원인 등을 조사하면서 전통적인 공법으로 수복 작업을 추진하고 있다.

There was a lot of damage, including collapsing of the stonewall, in the Great East Japan Earthquake of 2011. Reconstruction is currently underway through traditional construction methods, while the stonewall structure and cause(s) of its collapse are being investigated, in order to restore it to its pre-earthquake appearance.

## II 石垣修復の作業工程

- 1. 石材調査**
  - 石材の大きさや重さ、工具痕(矢穴やノミの痕)や墨書・刻書の有無などを調査し、1石ごとに「石材カルテ」を作成しています。
  - 石材の健全度判定を行ない、修復する石垣に再利用できるかについても調査しています。
- 2. 発掘調査**
  - 石垣の周辺部には、江戸時代の建物跡などの遺構が残っているため、事前に発掘調査を行って記録化しています。確認された遺構は、できるだけ保存しながら工事を行っています。
  - 崩落箇所の周囲は、石垣が変形しているため、一部解体を行って修復します。江戸時代の石垣構築の方法や、石垣修復の有無などを確認するため、解体作業と並行して発掘調査を行っています。
- 3. 積み替え**
  - 江戸時代の石垣構築方法(伝統工法)に基づく石垣修復を基本としています。
  - 一つひとつの石材が江戸時代から伝わる文化財です。石材をできるだけ再加工せず、崩落前の姿に戻しています。



石材調査



発掘調査



修復された石垣



## 国指定史跡「小峰城跡」指定 平成22年8月5日 構造 梯郭式平山城

小峰城は、南北朝期の興国・正平年間(1340~69)頃に、結城親朝により築城されたのが始まりとされます。現在に名残をとどめる石垣造りの城郭は、寛永4年(1627)に初代白河藩主となった丹羽長重が寛永6年(1629)より約4年の歳月をかけて改修したものです。丹羽家をはじめ、榊原・本多・松平(奥平)・松平(結城)・松平(久松)・阿部と7家21代の藩主が居城としましたが、慶応4年(1868)の戊辰戦争白河口の戦いにより多くの建物が焼失し、落城しました。明治以降、各地の城郭はその


多くが民間へ払い下げられましたが、小峰城は、本丸を中心とした範囲が陸軍省の所管となり、明治26年(1893)に白河町に払い下げられました。平成3年(1991)には三重櫓、平成6年(1994)には箭御門が、発掘調査の成果と絵図の記載をもとに木造で復元されています。平成22年(2010)、奥州の押さえとしての歴史的重要性や、本丸・二之丸を中心とした範囲に、石垣や堀といった遺構が良好な状態で残されていることが高く評価され、国の史跡に指定されました。

Kōmine Castle, built in the mid-14th century, greatly changed its appearance when it was transferred to a government army garrison located north of the castle in 1623. This castle belonged to seven families over 21 generations. The building was almost completely destroyed by the Great East Japan Earthquake in 2011, when the castle fell, causing significant damage to the main and the secondary walls.

小峰城は、南北朝中期の興国・正平年間(1340~69)頃に、結城親朝により築城されたのが始まりとされます。現在に名残をとどめる石垣造りの城郭は、寛永4年(1627)に初代白河藩主となった丹羽長重が寛永6年(1629)より約4年の歳月をかけて改修したものです。丹羽家をはじめ、榊原・本多・松平(奥平)・松平(結城)・松平(久松)・阿部と7家21代の藩主が居城としましたが、慶応4年(1868)の戊辰戦争白河口の戦いにより多くの建物が焼失し、落城しました。明治以降、各地の城郭はその

白河の歴代領主・藩主の一覧表

白河の歴代領主・藩主

時代	領主	代	年号	西暦	主な出来事
中世 401年	結城  左三つ巴	朝光(ともみつ)	文治 5年	1189	白河結城氏の始祖、源頼朝から藤原氏討伐の功により白河庄を賜る(下館結城初代)
		祐広(すけひろ)	正応 2年	1289	朝広の次男、下館結城から分家、白河に下向
		宗広(むねひろ)	元弘 3年	1333	宗広、後醍醐天皇から結城總領に任ぜられ北畠親家臣下のもと共に南朝につくす(延元3年伊勢にて没) 市内関川寺に墓所あり
		親朝(ちかとも)	南無開元元年 北朝建永2年	1340 1343	上の台〜小峰7岡に城移る 土屋の小峰城築(小峰家初代) 足利尊氏側に服属し、幕府より所領諸職安堵
	真親(よしちか)	14	天正18年	1590	季吉に小田原不参加を責められ所領を没収される
戦山・ 江戸時代初期	江戸時代初期の38年間は、会津領の一部 天正18年(1590)〜寛永4(1627) 藩主氏郷・赤行9年・上杉景勝3年・藩主赤行・志郷26年として治められていた				

江戸時代7家21代の年表

藩	主	代	年号	西暦	主な出来事	前任国	移封先	石	高		
丹羽 16年	X すじのへい 直道い	長重(ながしげ)	1	寛永 4年	1627	頼朝より白河城主として入部 寛永6年(1629)大御所奉覚命により幕府改修 寛永14年閏3月4日没、円明寺に墓(市内)	越前国福余	越前国二本松	10万石		
		元重(みつしげ)	2	寛永14年	1637	襲封		5万石			10万石
神原 (松平) 6年	 神原源氏系	忠次(ただつぐ)	1	寛永20年	1643	上野国館林藩より入部	上野国館林	播磨国姫路	14万石		
				慶安 2年	1649	播磨国姫路藩へ転封		11万石			15万石
水多 32年	 丸に立葵	忠義(ただよし)	1	慶安 2年	1649	越後国村上より入部 明暦3年(1657)鹿嶋神社神輿寄進	越後国村上	下野国宇都宮	12万石		
		忠平(ただひら)	2	寛文 2年	1662	襲封		10万石			11万石
松平 (奥平) 11年	 九曜	忠弘(ただひろ)	1	天和元年	1681	下野国宇都宮藩より入部 元禄4年幕府より頼朝等(頼朝・頼朝の孫 頼朝) 寛政 出羽国山形藩へ転封	下野国宇都宮	出羽国山形	15万石		
				元禄 5年	1692	出羽国山形藩より入部 「火和守日記」諸芸堪能 元禄 8年4月15日没、円明寺に墓(市内)		15万石			15万石
松平 (結城) 49年	 ごころのきり 五三の桐	直矩(なおのり)	1	元禄 5年	1692	出羽国山形藩より入部 「火和守日記」諸芸堪能 元禄 8年4月15日没、円明寺に墓(市内)	出羽国山形	播磨国姫路	15万石		
		基知(もとらち)	2	元禄 8年	1695	襲封 享保14年8月1日没、円明寺に墓(市内)		10万石			15万石
		明矩(あきのり)	3	享保14年 寛保元年	1729 1741	襲封 播磨国姫路藩へ転封		10万石			15万石
松平 (久松) 82年	 ほしうめぼら 星梅鉢	定賢(さだよし)	1	寛保元年	1741	越後国高田藩より入部 明和7年7月12日没	越後国高田	伊勢国桑名	11万石		
		定邦(さだくに)	2	明和 7年	1770	襲封		11万石			11万石
		定信(さだのぶ)	3	天明 3年	1783	襲封 天明7年 老中首座 寛政の改革 1801年 「南湖公園」築庭		11万石			11万石
		定末(さだなが)	4	文化 9年 文政 6年	1812 1823	襲封 伊勢国桑名藩へ転封		10万石			10万石
岡部 44年	 丸に蓮葉の羽	正権(まさのり)	1	文政 6年	1823	武蔵国忍藩より入部、三方所替	武蔵国忍	越前国福余	10万石		
		正真(まさあつ)	2	文政 6年	1823	襲封、紀州家からの養子					
		正徳(まさあきら)	3	天保 2年	1831	襲封					
		正備(まさかた)	4	天保 9年	1838	襲封					
		正定(まささだ)	5	嘉永元年	1848	襲封					
		正壽(まさひさ)	6	嘉永元年	1848	襲封					
		正外(まさどう)	7	元治元年	1864	襲封寺社奉行 老中					
		正静(まさきよ)	8	慶応 3年	1867	前年に襲封、福余藩へ転封					

ここは清水門跡/前方の石垣の上部が本丸

 [video](#)



手前が清水門跡の標石



こちらは「小峰城趾」と刻まれている



そこで、左手（西方向）を見たところ/月見櫓があった部分の石垣が張り出しているのが見て取れる



同じく、右手（東方向）を見たところ





しみずもんあと  
清水門跡

Site of Shimizumon Gate

清水門遺迹

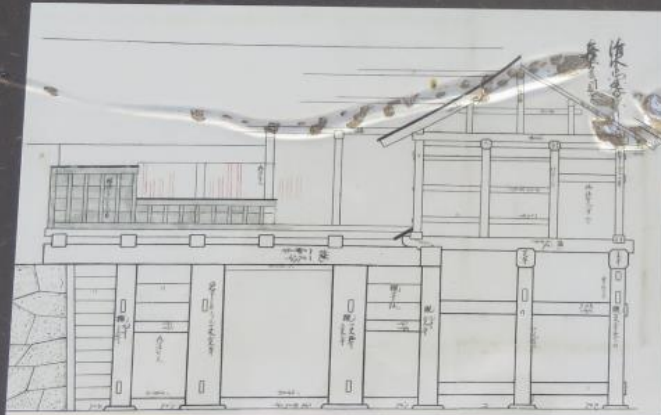
清水門遺跡

시미즈몬 문 터

本丸の正面入口にあたり、二之丸と本丸をつなぐ重要な門で、高さ約4.5mの石垣の上に檜をわたす「檜門」の形式です。瓦葺きで高さは約11m、間口は約13mありました。現在、礎石が残っているのを確認することができ、二階檜部分へ出入りするためと思われる石垣両側の土手も残っています。

柱には榎(檜のこと)が使用され、太いものでは2~3尺(0.6~1mほど)角の木が使われていました。これは城内の門で最大の太さとなっており、本丸入口の清水門の重要性がうかがえます。

なお、清水門の管理などについて定めた享保20年(1735)の記録が残されており(前橋市立図書館蔵「白河藩記録」享保20年1月晦日条)、それによれば門は「暮六」(午後6時~7時)に打つ太鼓で閉門することになっていました。



「清水御門建絵図」(「白河城御櫓絵図」1808年より)

This important gate connecting the Ninomaru outer citadel to the Honmaru main enclosure of the castle, is shaped like the Yaguramon Gate, the structure of which crosses over a stonewall of an approximate height of 4.5 meters. With its tiled roof, it is about 11 meters high and has a width of about 13 meters.

连接二之丸与本丸的重要城门，是在约 4.5m 高的石墙上建造“城门洞”的形式。瓦片顶，高约 11m，正面宽度约 13m。

连接二之丸与本丸的重要城门，是在约 4.5m 高的石墙上建造“城门洞”的形式。瓦片顶，高约 11m，正面宽度约 13m。

니노마루와 혼마루를 잇는 중요한 문으로 높이가 약 4.5m의 돌담 위에 건물을 이은 야구라몬 형식. 기와를 얹은 지붕으로 높이 약 11m, 폭은 약 13m

白河市

清水門の礎石が見てとれる



この石垣の上部が本丸/半円弧を描くように積まれており、落し積み石垣と云うらしい

[video](#)



そこで、左手を見たところ/階段を登った先に桜之門跡がある



同じく、右手を見たところ/スロープを登った先は竹之丸



振り返って、清水門跡を見たところ



そこで、右手を見たところ



同じく、左手を見たところ





その石垣をアップで見たとこ



スロープを登って左手を見たところ

 [video](#)



三重櫓と前御門（手前）が見える



アップで見たところ



右手を見ると、この上が竹之丸のエリア



ここが竹之丸/左手に続くマウンドの上には竹之丸平櫓があったようだ



そこで、右手に竹之丸の南東隅にある竹之丸二重櫓跡を見たところ

 [video](#)



「竹之丸二重櫓跡」と記された標柱が立つ





そこで、右手を見ると石垣下に水堀及び二之丸が見える



振り返って、三重櫓と前御門を見たところ



さて、前御門を潜って本丸へと進もう

[video](#)



ここが本丸/本丸には本丸御殿があった/前方（西側）は一段高くなっている



「本丸御殿跡」と記された標石と説明板がある





ほん まる ご てん あと  
本丸御殿跡

Site of Hommaru Goten Palace 本丸御殿遺迹 本丸御殿遺跡 혼마루 고텐 터

本丸の平坦地には、御本城御殿(本丸御殿)と呼ばれる建物が存在していました。

松平定信が藩主時代の文化5年(1808)に作成された「白河城御櫓絵図」中の「御本城御殿平面図」では、藩主の居所と政庁を兼ねていたと考えられます。

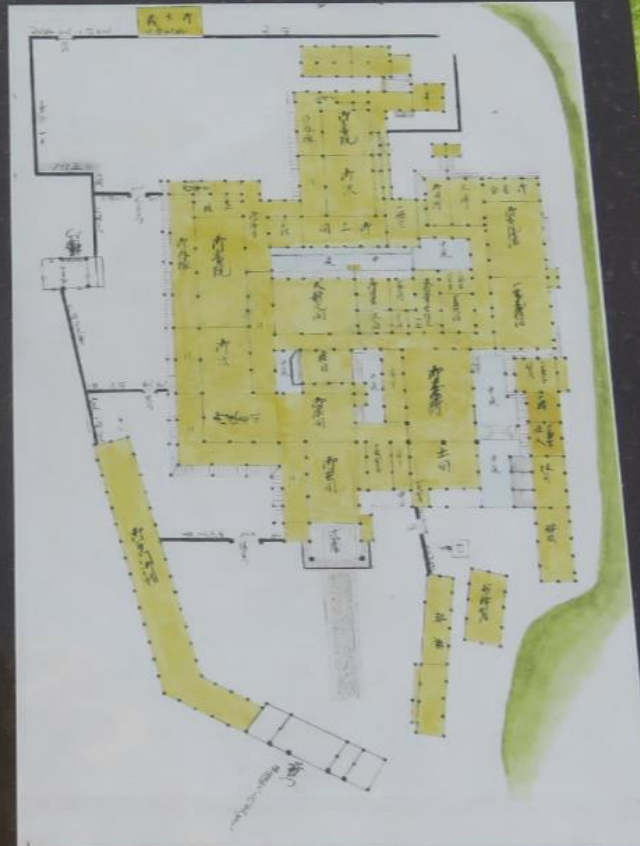
畳数は707畳とする記録があり、かなりの大きさだったことがうかがえます。

This is where the residence of the feudal lord and the government offices were located. Some records indicate that it encompassed an area of about 1,166 m<sup>2</sup>.

在该处建造了藩主的宅邸兼官厅的建筑。关于面积，根据部分记录为1166平方米。

在該處建造了藩主的宅邸兼官廳的建築。關於面積，根據部分記錄為1166平方米。

이 장소에는 번주의 거처와 정청을 겸한 건물이 세워져 있었다. 넓이는 일부 기록에 의하면 약1166㎡이다.



「御本城御殿平面図」

白河市

振り返って、前御門を見たところ





そこで、左手に三重櫓を見上げたところ



同じく、右手（南側）を見ると多門櫓跡が見える





これは多門櫓跡から三重櫓を見たところ



そこで、右手を見たところ



前御門を右手から見たところ

[video](#)



これはそこから 西方向に多門櫓跡を見たところ



多門櫓の西側に進むと、石段があった/桜之門跡から本丸を目指すと、ここに至るようだ





そこで振り返って、東方向に多門櫓跡を見たところ



同じく、三重櫓を見たところ



さて、この石段を踊り場まで下りてみる/右手に説明板が立っている

[video](#)



さくらのもんあと  
桜之門跡

Site of Sakuranomon

櫻之門遺迹

櫻之門遺跡

사쿠라노몬 문 터

桜之門は清水門から左側を入った場所であり、本丸御殿の南側入口にあたる門です。門を入った先は御殿の庭部分に通じており、藩主の居住区に近く、藩主などの出入りに利用された門とされます。

石垣の上に檜をわたす「檜門」の形式で、門の高さは約7mでした。

桜之門の付近に桜の木が数本植えられていたことが分かる絵図があり、門の名はこの桜から付けられた可能性も考えられます。



There are maps showing that cherry trees (sakura) grew nearby, and it is believed that this was how the gate got its name. The gate is about 7 meters high.

因为有说明附近种植的樱树状况的图，所以认为是名称的由来。城门高约7m。

因為有說明附近種植的櫻樹狀況的圖，所以認為是名稱的由來。城門高約7m。

부근에 벚나무가 심어져 있는 그림이 남아 있어 문 이름의 유래가 되었다고 추정된다. 문 높이는 약7m.

「桜之御門建繪図」(「白河城御櫓繪図」1808年より)

白河市

途中の踊り場に、「櫻門跡」と記された標柱が立っていた

[video](#)



さて、本丸の西側の一段高くなったエリアに進んでみよう

[video](#)



そこで、右手を見たところ/手前に石造物が見える



こんな塩梅

 [video](#)





その右手（北西側）にも大きな石碑がある



これは北東側にあった石碑



さて、ここは一段高くなったエリアの南西隅/右手に標石がある

[video](#)



「富士見櫓跡」とある



そこから北方向を見たところ



ここは北西隅/右手に標石がある



「月見櫓跡」とある



そこで、右手（東方向）を見たところ/この一段高い地盤は前方の三重櫓まで続いているが、この北辺の地盤は土塁のようだ

[video](#)





ここにも石造物がある/初代白河藩主の丹羽長重公三百年祭記念碑



また、こんな説明板も立っていた



## 明治20年皆既日食観測地跡

明治20年（1887）8月19日午後、本州の一部を横断する形で皆既日食がありました（図参照）。この日食は、明治となり初めて本州で観測できる貴重な皆既日食であったことから、明治政府は国家的事業と位置づけ、白河や新潟県三条などで観測を実施しました。政府は官報に「観測心得書」を載せ、皆既日食が観測できる地域には写生用紙を配布して観測を奨励するとともに、当日の午後は学校や官公庁を休業としました。

皆既日食帯のほぼ中央に位置した白河は、前月に鉄道が開通したことで東京まで約6時間半で結ばれ、最新機材で日食の連続撮影を企画したアメリカ・アマースト大学（マサチューセッツ州）の教授、D.P.トッド博士も白河を観測地と決めました。

皆既日食当日、トッド博士のカメラ（右下の写真）は、悪天候で数枚の部分食を撮影できたのみでしたが、観測に協力した白河の数学者市川方静は別の場所に弟子を派遣し、コロナの一部観測に成功しています。

当日は臨時列車が運行され、白河には各地から多数の見物人が集まったと伝えられ、政府高官や阿部正功（旧白河藩阿部家の当主）も訪れました。

白河市教育委員会



皆既日食帯の図

（○印は専門家による主な観測地「白河市大川三より」）



据えられた水平望遠カメラ

（小川一真撮影、行田市郷土博物館「創業紀年参十年誌」より）

さて、いよいよ三重櫓へと進もう/左手の大木は「おとめ桜」





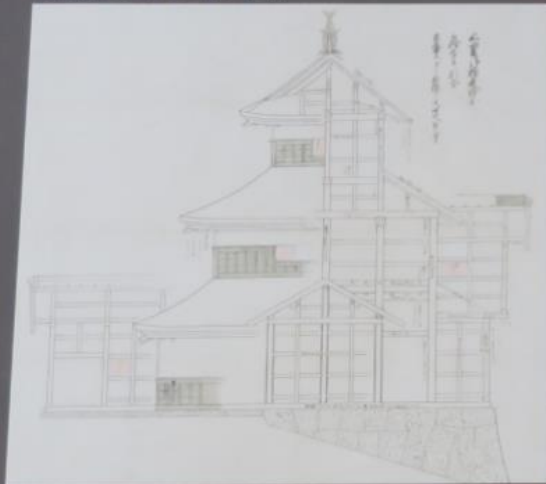
# さん じゅうやぐら あと 三重櫓跡

Site of Sanjuyagura Turret 三重櫓遺迹 三重櫓遺跡 산주야구라 망루 터

本丸の北東隅に建つ三層三階の櫓で、小峰城の中心となる最も規模の大きな櫓です。高さが約13m、一階が約12m四方、二階が約8m四方、三階が約4m四方の正方形となっています。外観は黒塗りの板を張った「下見板張」で、耐久性が高いとされます。

北側には、張り出しの「石落とし」が設けられているほか、南側と西側にも張り出した土間が設けられ、西側の土間に出入口があります。屋根に飾られる鯨は高さ約1.2mです。

また、三重櫓に使用した瓦は1万3千枚を超える膨大な数だったことが記録に残っています。



With three tiers and three stories, this was the largest turret and stood at the center of Kominejo Castle. With a square shape, its first floor was about 12 meters square, its second floor about 8 meters square and its third floor about 4 meters square.

3层3階の城楼，是成为小峰城中心的最大规模的城楼。城楼高约13m，关于面积，1层为12m见方，2层约8m见方，3层约4m见方，是正方形结构。

3層3階の城樓，是成為小峰城中心的最大規模的城樓。城樓高約13m，關於面積，1層為12m見方，2層約8m見方，3層約4m見方，是正方形結構。

3층 3층의 망루로 고미네성의 중심이 되는 가장 규모가 큰 망루. 높이 약13m, 넓이는 1층이 144m<sup>2</sup>, 2층이 약64m<sup>2</sup>, 3층이 약16m<sup>2</sup>으로 모든 층이 정방형으로 되어 있다.

「三重御櫓建繪図」(「白河城御櫓繪図」1808年より)

白河市

そこで、左手を見たところ/土塀の狭間が見て取れる



その更に左手で、北側の帯曲輪を見下ろしたところ/未だ、復旧工事中のようだ





アップで見たところ



ここが三重櫓への出入口



そこで、右手を見たところ



これは更に右手で、本丸を見下ろしたところ

[video](#)



三重櫓の内部/この復元が近年全国各地で行われるようになった城郭建築物の木造復元のさきがけとなったと云う

[video](#)



「復元について」



復元について About the Restoration Work  
关于复元 關於復元 복원에 대하여

小峰城の三重櫓と前御門は、「白河城御櫓絵図」(福島県指定重要文化財)や発掘調査にもとづき、1991年と1994年に木造で忠実に復元されたものです。

特に「白河城御櫓絵図」は城内の建造物の実測図であり、復元はこの資料をもとに設計しました。資材も発掘調査で出土した瓦片・釘等をもとに製作し、地元の木材をできるだけ使用しました。

この復元事業は、のちに各地で盛んとなった城郭建造物の木造復元のさきがけとなったもので、この小峰城三重櫓復元ののち、掛川城天守(1994年)、白石城三階櫓(1995年)、新発田城三階櫓・大洲城天守(2004年)、金沢城の門や櫓(2001年～2015年)などが次々と復元されました。

The Sanjuyagura Turret and the Maegomon Gate at Kominejo Castle have been faithfully restored as wooden structures based on excavational investigations and design drawings from the Edo period. Since then, wooden reconstruction of castles has been performed throughout Japan.

小峰城三重櫓和前御門是根据发掘调查以及江戸时代的设计图以木结构忠实复原的建筑。此后在日本全国对城郭建筑开始采用木结构复原。

小峰城三重櫓和前御門是根据发掘调查以及江戸时代的設計圖以木結構忠實復原的建築。此後在日本全國對城郭建築開始採用木結構復原。

고미네성 산주야구라 망루와 마에고몬 문은 발굴 조사 및 에도시대의 설계도를 참고하여 목조로 충실하게 복원된 것이다. 이 복원 공사 이후, 전국에서 성곽 건축물의 목조 복원 공사가 실시되게 되었다.

「白河城御櫓絵図（三重御櫓建絵図）」



白河城御櫓絵図 (三重御櫓建絵図)  
Map of Shirakawa Castle Turret (Elevation of Sanjuyagura Turret)  
白河城御櫓面紙 (三重御櫓建絵図)  
白河城御櫓面紙 (三重御櫓建絵図)  
白河城御櫓面紙 (三重御櫓建絵図)

文化5年(1808)に、松平定信が家臣らに命じて城内の門・櫓などの37の建物を実測させ絵図を作成しました。

この絵図は、平面配置図と、1/30、1/40縮尺の建絵図がほぼ一組となって描かれています。これは、現在「白河城御櫓絵図」として、福島県指定重要文化財となっています。建絵図は正面・側面に立体図を一つにし、柱や梁の材質や寸法、屋根構造などの断面が描かれており、三重櫓復元の基礎資料となっています。



「三重御櫓建絵図」(「白河城御櫓絵図」1808年より)

This illustrated drawing was created by Matsudaira Sadanobu in 1808 based on measurements he had others conduct on the buildings, including the gates and turrets inside the castle. This drawing was used as basic data for the wooden reconstruction of Sanjuyagura Turret.

1808年、松平定信实际测量城内的城門、城樓等建築物繪制的圖紙，成為三重櫓木結構復元的基礎資料。

1808年、松平定信實際測量城內的城門、城樓等建築物繪製的圖紙，成為三重櫓木結構復元的基礎資料。

1808년에 마쓰다이라 사다노부가 성내에 있는 문과 망루 등의 건축물을 측정하여 작성한 도면, 산주야구라 망루의 목조 복원 시에 기초 자료가 되었다

「三重櫓と天守」



さんじゅうやぐら てんしゅ Sanjuyagura Turret and the Keep  
三重櫓と天守 三重櫓与天守  
삼주야구라 망루와 천수각

三重櫓(三階櫓)は、天守と同様の格式をもつ、その城郭の象徴となる櫓です。

江戸時代初期の元和元年(1615)、幕府は「武家諸法度」で城郭の新規築造や増改築を制限しました。これ以降に作られた、天守に匹敵する三重屋根の櫓が「三重櫓(三階櫓)」と称され、天守の代用として城郭の象徴となりました。東日本の城郭では、多くが天守の代わりとして三重櫓が作られています。

一方、姫路城など西日本の巨大城郭には天守に加え、各地の天守や三重櫓をしのぐ大きさの三重櫓が複数建てられる例も見られます。

The Sanjuyagura Turret was built rather than a "keep," which is a symbol of castles. Since the Shogunate in Edo regulated castle construction all over the country in 1615, these structures of castles built after that were not called "keeps," but rather turrets. 三重櫓是代替作为城郭象征的“天守”而建造的城楼。1615年，因江戸幕府在全国限制筑城，所以此后建造的城楼不称为天守而建造城楼代替天守。

三重櫓是代替作为城郭象征的“天守”而建造的城楼。1615年，因江戸幕府在全国限制筑城，所以此后建造的城楼不称为天守而建造城楼代替天守。 삼주야구라 망루는 성곽의 상징이 되는 '천수각'의 대용으로 건축된 망루이다. 1615년에 에도 막부가 천국의 축성을 규제했기 때문에 그 이후에 축성된 성에서는 천수각이라 칭하지 않고 망루를 천수각의 대용으로 건축하였다.



「狭間」



## 狭間

Loopholes  
狭間 (小窓)  
狭間 (小窓)  
사마

弓矢・鉄砲などを使うために塀や櫓の壁面に開けられた小窓です。使用武器の種類によって矢狭間・鉄砲狭間などと称します。この櫓には弓矢用の長方形の箱狭間が設けられています。

外側に狭間をふさぐ板が付けられ、通常は閉じており戦いの際に板を前面に押し上げ使用します。塀に矢狭間と鉄砲用の三角形の鑿狭間が交互に設けられています。

These loopholes were built into the wall to enable the use of arrows and guns. Their shapes vary depending on the weapon used.

在牆面上開設的小窗，用于使用弓弩和火槍等。不同武器的小窗形狀各不相同。

在牆面上開設的小窗，用於使用弓弩和火槍等。不同武器的小窗形狀各不相同。

활과 조총 등을 사용하기 위해 벽면에 구멍을 낸 총안이다. 무기에 따라 구멍의 모양이 다르다.

「石落し」



石落し

Machicolations  
石落 (投石口)  
石落 (投石口)  
이시오노시

石垣を登ってくる敵を監視し、攻撃する施設です。外壁の一部に張り出しを作り、そこから石や熱湯などを落としたり、矢や鉄砲を使って攻撃します。

Machicolations are enable to drop stones and pour hot water on an enemy climbing up the stonewall, or to shoot the enemy with arrows and guns.  
从这些石落 (投石口) 对登上石垣的敌人投石块或者浇热水, 使用弓箭及火枪攻击。

從這些石落 (投石口) 對登上石牆的敵人投石块或者澆熱水, 使用弓箭及火槍攻擊。  
돌담을 타고 올라오는 적에게 돌을 떨어뜨리거나 썰썰 끓는 물을 쏟거나, 활과 조총으로 공격하는 시설.

これは北側の帯曲輪頭上の石落とし





## 杉材と弾痕

Cedar and Bullet Holes  
杉樹材料与弾痕  
杉樹材料與彈痕  
삼나무 자재와 탄흔

慶応4年(1868)に起きた<sup>ほしん</sup>戊辰戦争は、白河にもおよび、「白河口の戦い」といわれる約100日間にわたる戦争がありました。なかでも激戦地の「<sup>いなりやま</sup>稲荷山」は5月1日に仙台藩や会津藩などが白河に迫る新政府軍と激しい砲撃・銃撃戦を行った場所で、多くの弾丸が山にあった杉に撃ち込まれました。

これらの杉を、三重櫓の復元のために伐採・製材したところ、戦闘時の弾丸が数多く発見されました。この弾の跡を一階の通し柱と床板、二階の腰板に見ることができます。



発見された鉄砲の鉛玉

Cedar from Mt. Inari within the city limits, where there was heavy fighting during the Boshin War in 1868, was used to restore the turret. Bullet holes from that time have been found in the cedar. Traces of the bullet holes can be seen on the posts and floor on the first floor and on the wainscot on the second floor.

复原该城楼时选用了在1868年戊辰战争成为鏖战战场的市内稻荷山的杉树。在该杉树上发现了当年打在上方的枪弹。这些枪弹的痕迹可以在1层的柱子和地板上、2层的裙板上找到。

复原该城楼时选用了在1868年戊辰战争成为鏖战战场的市内稻荷山的杉树。在该杉树上发现了当年打在上方的枪弹。这些枪弹的痕迹可以在1层的柱子和地板上、2层的裙板上找到。

이 방주의 복원에는 1868년의 보신전쟁에서 치열한 전투가 되었던 시내의 이나리야마산 삼나무를 사용했는데, 그 삼나무에 현재 당시에 박힌 탄흔이 발견되었다. 그 흔적을 1층의 기둥이나 바닥, 2층의 벽판자에서 찾아볼 수 있다.

地産地消のためか、戊辰戦争の激戦地である「稻荷山」の杉材をこの復元に使用したところ、多数の弾丸跡が見つっていると云う



三重櫓の復元に際して、戊辰戦争の激戦地であった「稲荷山」の大杉を使用したところ、多数の弾丸とともに見つかったものです。

戊辰戦争の際、実際に  
打ち込まれた鉄砲玉の跡

These are traces of bullets actually shot during the Boshin War.

戊辰戦争时实际打在上面的枪弹痕迹。

戊辰戦争时实际打在上面的枪弹痕迹。

보신전쟁 당시에  
실제로 박힌 조총 탄환 자국



戊辰戦争の際、実際に  
打ち込まれた鉄砲玉の跡

These are traces of bullets actually shot  
during the Boshin War.

戊辰战争时实际打在上面的枪弹痕迹。  
戊辰戦争時實際打在上面的槍彈痕跡。

보신전쟁 당시에  
실제로 박힌 조총 탄환 자국

三重櫓の復元に際し  
て、戊辰戦争の激戦地  
であった「稲荷山」の大  
杉を使用したところ、多  
数の弾丸とともに見つ  
かったものです。

# こ みね じょう あと 国指定史跡 小峰城跡

指定年月日 平成22年8月5日  
追加指定年月日 平成24年9月19日 平成26年3月18日  
指定面積 162,859.4㎡  
所有者 白河市地  
管理団体 白河市

阿武隈川の南側、小峰ヶ岡と呼ばれる東西に長い独立丘陵(標高370メートル)を利用して築かれた城郭が小峰城です。江戸時代に編さんされた『白河風土記』(1805年成立)によれば、興国・正平年間(1340~69)頃、白河庄の領主結城宗広の嫡男親朝(別家小峰家を創設)の築城がはじまりとされます。永正年間(1504~20)以降、一族に起こった内紛で小峰家が権力を掌握し、白河結城家を代表するようになります。本拠が小峰城に移ったと考えられています。

天正18年(1590)、豊臣秀吉の奥州仕置によって白河結城家が改易され、以降約40年にわたって白河は会津藩領となり、小峰城には城代が置かれました。

寛永4年(1627)、白河は会津藩領から離れて白河藩が成立します。現在目にすることができる石垣をめぐらせた城跡は、初代藩主丹羽長重が幕府の命を受けて改修したとされ、梯郭式平山城の近世城郭として寛永9年(1632)まで約4年の歳月をかけて大きく改修したものです。

この大改修は、本丸・二之丸を総石垣で固め、三之丸も門の周辺部を石垣積みとしたもので、東北地方には数少ない、随所に石垣を多用した特徴があります。

現在、本丸・二之丸を中心とした約16万3000平方メートルが史跡となっていますが、当時の城郭の範囲は現在のJR白河駅の南側までを含むもので、約54万平方メートルの規模と推定されています。

小峰城は、丹羽長重とその子光重が在城したあと、榊原家(1代)・本多家(2代)・奥平松平家(1代)・結城松平家(3代)・久松松平家(4代)・阿部家(8代)と、親藩・譜代大名6家19代の居城となり、北東北の外様大名に対する江戸の防衛ラインの一端として「奥州の押さえ」の役割を担いました。

慶応3年(1867)、阿部家が棚倉に転封されると白河藩は消滅して小峰城は幕府管理となり、翌年に戊辰戦争が勃発すると新政府の管理地となります。

東北地方まで戦火が及ぶと、要衝の地である白河をめぐって奥羽越列藩同盟軍と新政府軍が戦い、小峰城内の建物の多くは焼失しました。

しかし、平成3年(1991)に三重櫓、同6年に前御門が発掘調査や江戸時代の精巧な絵図(「白河城御櫓絵図」)をもとに木造で忠実に復元され、往事を偲ばせています。また、この復元は、近年全国各地で行われるようになった城郭建築物の木造復元のさきがけとなりました。

## Komine Castle (National Historic Site)

Date of Designation as a National Historic Site August 5, 2010  
Date of Additional Designations September 19, 2012 March 18, 2014  
The Designated Area 162,859.4㎡ of  
Owner Shirakawa City Other  
Management Organization Shirakawa City

Komine Castle was built on an isolated hill called Kominegaoka (Elevation: 370m) extending east and west, which is located in the south part of Abukuma River. According to Shirakawa Fudoki, which was completed in 1805 (ancient reports on provincial culture, geography etc), during the Kokoku and Shohai periods (1340-1369), the construction of Komine Castle was begun by Munehiro Yuki's eldest son, Chikatomo (who created the Komine family).

After the Eishu period (1504-1520), due to feuding within the family, the Komine family started representing the family instead of the Shirakawa Yuki family, so the base of the family moved to Komine Castle. In 1590, Hideyoshi Toyotomi conducted Oshu Shiki (a punishment to the powerful warriors in the area of Oshu, to prevent them from strengthening their power) and the Shirakawa Yuki family was deprived of its status. After that, Shirakawa became part of the Aizu territory and a castellan was sent to Komine Castle.

In 1627, Shirakawa seceded from the Aizu territory and Shirakawa Domain was made. According to one theory, under order of the shogunate, the first lord, Nagashige Niwa reformed the castle on the hill using stone walls, making the castle modern and the style of the castle is called Teikaku, which still exists to this day.

The parts of the castle called honmaru and ninomaru were surrounded by stone walls and the gate area of sannomaru was also surrounded by a pile of stones that formed a wall. A lot of stone walls were used and this is very rare in the Tohoku area. Currently, the area of the site is about 163,000 square meters (honmaru and ninomaru), however, people estimate that it used to be 540,000 square meters, which includes the south part of JR Shirakawa station now.

After Nagashige Niwa and his son Mitsushige stayed at the castle, the Sakakibara family (1 generation), the Honda family (2 generations), the Okudaira-Matsudaira family (1 generation), the Yuki-Matsudaira family (3 generations), the Hisamatsu-Matsudaira family (4 generations) and the Abe family (8 generations), 6 families in total and 19 generations of shinnun and fudai-daimyo lived in the castle. The castle played the role of Edo's defense barrier in Oshu against Tozama Daimyo in north Tohoku.

In 1867, the Abe family got transferred to Tanagura and the Shirakawa Domain was abolished. The shogunate took control of Komine Castle. The following year the Boshin war occurred and the new government assumed control of the castle. The battle extended to the Tohoku area and the Oetsu Reppan alliance and the new government army fought over Shirakawa and lots of buildings inside the castle were burnt.

However, using an illustration called Shirakawa Oyaguraezu as reference, Sanju Yagura (in 1991) and Margomon (in 1994) were restored using wood and still maintain traces of the past. This restoration has led the way for other wood restorations all over Japan since that time.



● 凡例 / Legend / 図例 / 案内



白河観光のご案内  
Shirakawa Tourism Guide  
白河観光センター  
Shirakawa Tourism Center  
1-1-1, Shirakawa, Fukushima Prefecture  
TEL: 0242-22-1111  
FAX: 0242-22-1112  
www.shirakawa-city.jp



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/007fukushima/011komine/komine.html>

<http://yogokun.my.coocan.jp/ouu/sirakawasi.htm>

<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page001390.html>

<https://heiwa-ga-ichiban.jp/oshiro/shirakawakomine/index.html>

<https://www.ntt-east.co.jp/fukushima/fbrari/003/index.html>

[https://akiou.wordpress.com/2017/08/10/shirakawa\\_komine/](https://akiou.wordpress.com/2017/08/10/shirakawa_komine/)

<http://www.takakurashoten.sakura.ne.jp/castle/touhoku/shirakawa/shirakawa.htm>

<https://www.hb.pei.jp/shiro/mutsu/komine-iyu/>

<https://sites.google.com/a/onodenkan.net/lie-dao-cheng-zhi-ji-xing/fu-dao-xian/bai-he-xiao-feng-cheng>

<http://shiro.travel.coocan.jp/01tohoku/shirakawa/index.htm>

<https://castlejp.web.fc2.com/01-hokkaidouhoku/02-shirakawa/shirakawa.html>

<http://www.asahi-net.or.jp/~by4m-knst/meior/shirakawa/shirakawa.htm>

<http://www.uraken.net/rail/travel-urabe43.html>

<https://eizan.iimdofree.com/%E7%99%BD%E6%B2%B3%E5%B0%8F%E5%B3%B0%E5%9F%8E/>

[http://www.pasonisan.com/rvw\\_trip/14-16-kominejou.html](http://www.pasonisan.com/rvw_trip/14-16-kominejou.html)

<https://wp.mikeforce.net/castles/2018/06/%E7%99%BD%E6%B2%B3%E5%B0%8F%E5%B3%B0%E5%9F%8E-%E2%88%92-shirakawa-komine-castle.html>

<https://www.fukutabi.net/fuku/sirakawa/siro.html>

<http://kahoo0516.blog.fc2.com/blog-entry-289.html>

<http://blog.livedoor.jp/bg5agt/archives/1590857.html>

